

# 平成24年度 教育委員会 第5回定例会 議案

1 日 時 平成24年6月11日（月） 午後1時

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

(3) 報告事項

(4) 閉 会

静岡県教育委員会

## 第5回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	平成 23 年度 教職員倫理 110 番等の通報状況	1
2	教育委員会における節電の取組	11
3	平成 25 年度 教員採用選考試験志願状況	13
4	家庭教育支援に関する取組	15
5	ロンドンオリンピックに出場する本県関係選手速報	16

(件 名) 平成 23 年度 教職員倫理 110 番等の通報状況

(教育総務課)

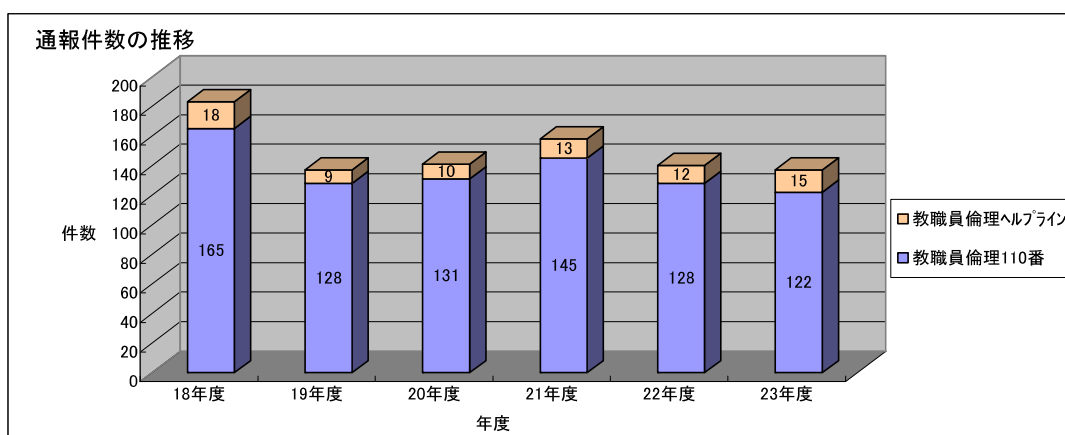
1 通報件数の推移

単位：件数

区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	計
教職員倫理ヘルプライン	18	9	10	13	12	15	77
教職員倫理110番	165	128	131	145	128	122	819
計	183	137	141	158	140	137	896

\* 教職員倫理ヘルプラインは、平成 15 年 10 月設置で、通報者は県立学校等職員が対象

\* 教職員倫理 110 番は、平成 17 年 6 月設置で、通報者は一般県民及び小中学校職員が対象



2 平成 23 年度通報分の処理状況

(1) 通報件数のうち調査対象件数及び措置状況

単位：件

区 分	通報 件数	調査 対象	通報の事 実あり	左の措置状況		
				懲戒処分	指導措置	所属長等 から指導
教職員倫理ヘルプライン	15	7	3			3
教職員倫理 110 番	122	67	27	1	4	22
合 計	137	74	30	1	4	25

(2) 措置状況の内訳

単位：件

区 分	懲戒処分	指導措置	所属長等 から指導	合 計
セクハラ・わいせつ			1	1
体罰		3	4	7
不適切な指導(ハラスメント・差別等)			6	6
勤務服務			4	4
セクハラ・わいせつ(生徒以外)	1			1
個人情報		1		1
不適切な会計処理			2	2
その他			8	8
合 計	1	4	25	30

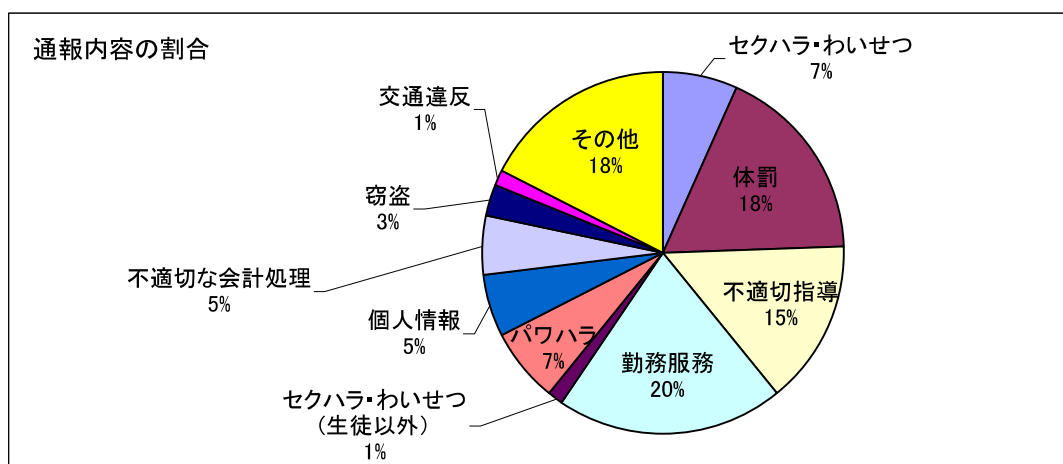
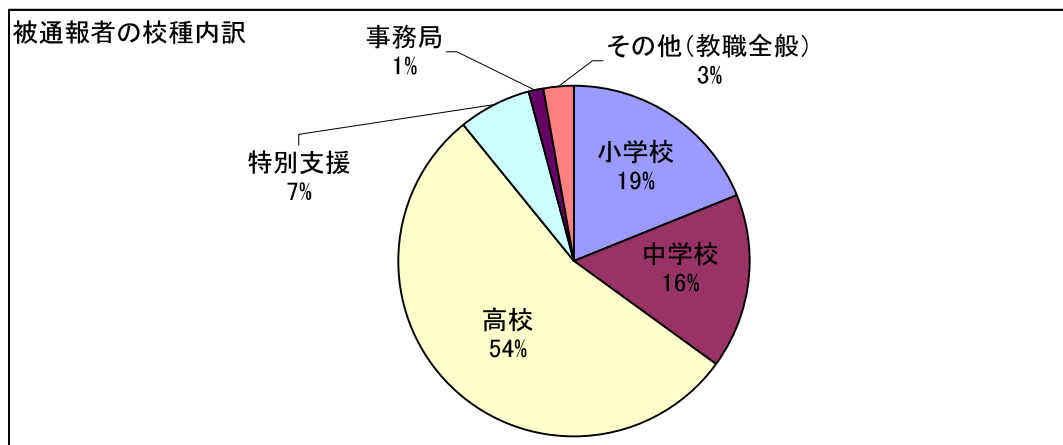
### 3 平成23年度通報件数のうち調査対象の概要（ヘルプライン+倫理110番）

通報件数137件のうち74件について調査を行った。

#### (1) 校種別通報内容

単位：件

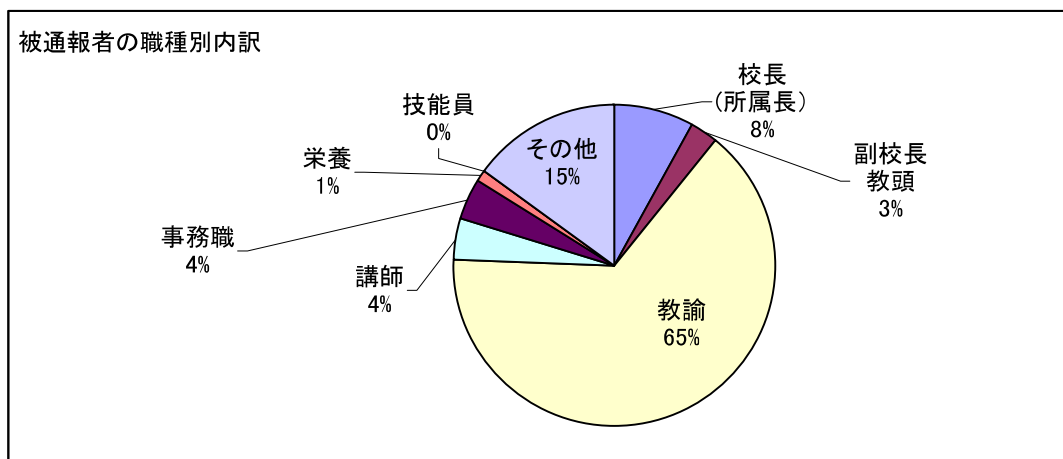
区分	小学校	中学校	高校	特別支援	事務局	その他（教職全般）	計
セクハラ・わいせつ	1		4				5
体罰	1	2	10				13
不適切指導（暴言・差別等）	5	4	2				11
勤務服務	3	1	9	2			15
セクハラ・わいせつ（生徒以外）		1					1
パワハラ（教職員間）			4			1	5
個人情報	2			2			4
不適切な会計処理	1		1		1	1	4
窃盗			1	1			2
交通違反（飲酒含む）		1					1
その他	1	3	9				13
合計	14	12	40	5	1	2	74



(2) 職種別通報内容

単位：件

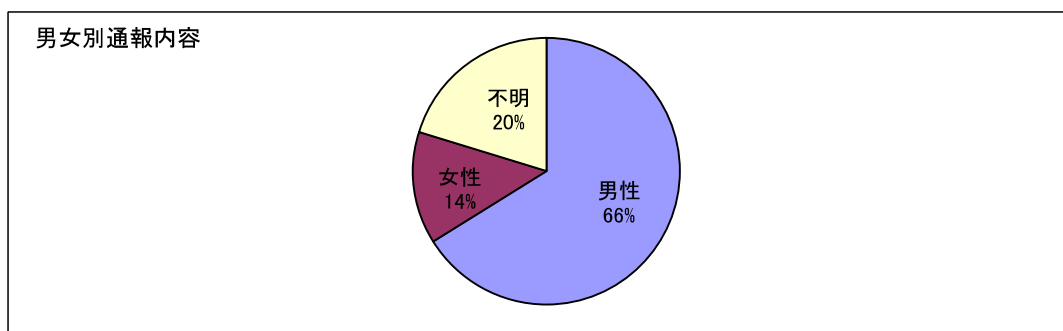
区 分	校長 (所属長)	副校長 教頭	教諭	講師	事務職	栄養	技能員	その他	計
セクハラ・わいせつ		1	2	1				1	5
体罰			13						13
不適切指導(暴言・差別等)			10	1					11
勤務服務	1	1	8	1	2			2	15
セクハラ・わいせつ (生徒以外)	1								1
パワハラ(教職員間)	1		1					3	5
個人情報			3					1	4
不適切な会計処理	1		1			1		1	4
窃盗			1					1	2
交通違反(飲酒含む)			1						1
その他	2		8		1			2	13
合 計	6	2	48	3	3	1		11	74



(3) 男女別通報内容

単位：件

区 分	セクハラ わいせつ	体罰	不適切指 導(暴言・ 差別等)	勤務 服務	セクハラ わいせつ (生徒以外)	パワハラ (教職員間)	個人 情報	不適切な 会計処理	窃盗	交通違反 (飲酒含む)	その他	計
男性	5	12	6	9	1		2	2	2	1	9	49
女性			2	4		2	1	1				10
不明		1	3	2		3	1	1			4	15
合計	5	13	11	15	1	5	4	4	2	1	13	74

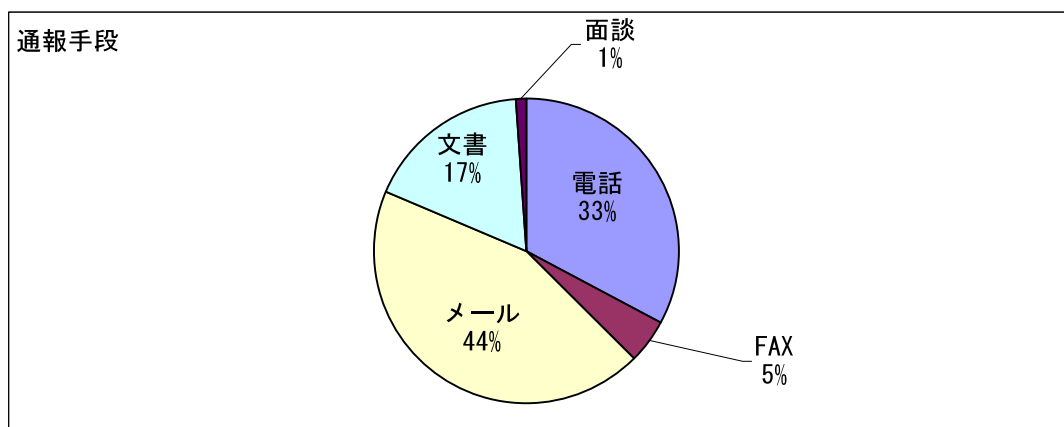


#### 4 通報件数等の推移（ヘルプライン＋倫理 110 番）

##### (1) 通報者の匿名・実名の別及び通報手段の内訳

単位：件

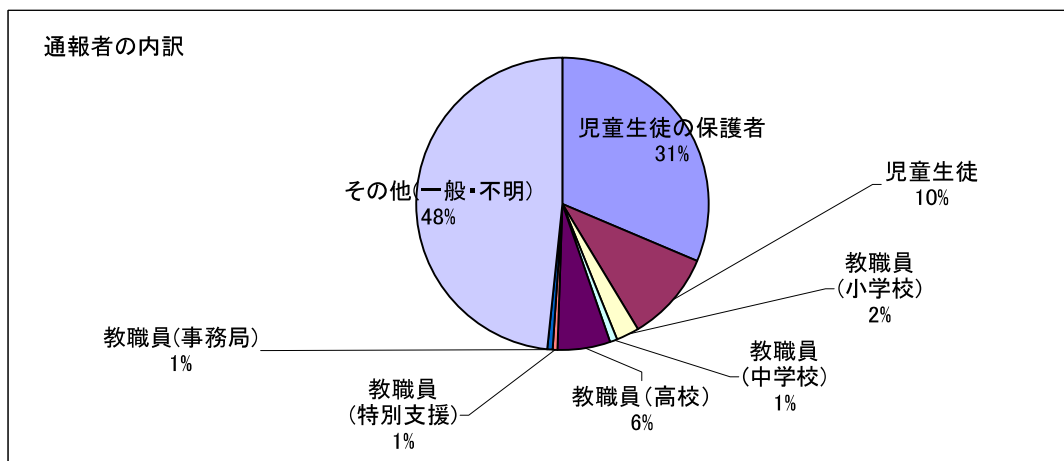
区分	匿名	実名	計	電話	FAX	メール	文書	面談	計
18年度	163	20	183	45	8	100	30		183
19年度	103	34	137	45	4	80	8		137
20年度	95	46	141	42	4	63	28	4	141
21年度	116	42	158	56	13	57	30	2	158
22年度	84	56	140	45	4	58	30	3	140
23年度	97	40	137	61	8	37	29	2	137
合計	658	238	896	294	41	395	155	11	896



##### (2) 通報者の内訳

単位：件

区分	児童生徒の保護者	児童生徒	教職員(小学校)	教職員(中学校)	教職員(高校)	教職員(特別支援)	教職員(事務局)	その他(一般・不明)	計
18年度	56	28	2	1	9		1	86	183
19年度	47	19	5	1	7			59	138
20年度	41	13	4	1	9	1		71	140
21年度	39	20	3	1	10		1	84	158
22年度	43	6	4	2	6	3	3	73	140
23年度	56	4	4	1	10	2	1	59	137
合計	282	90	22	7	51	6	6	432	896

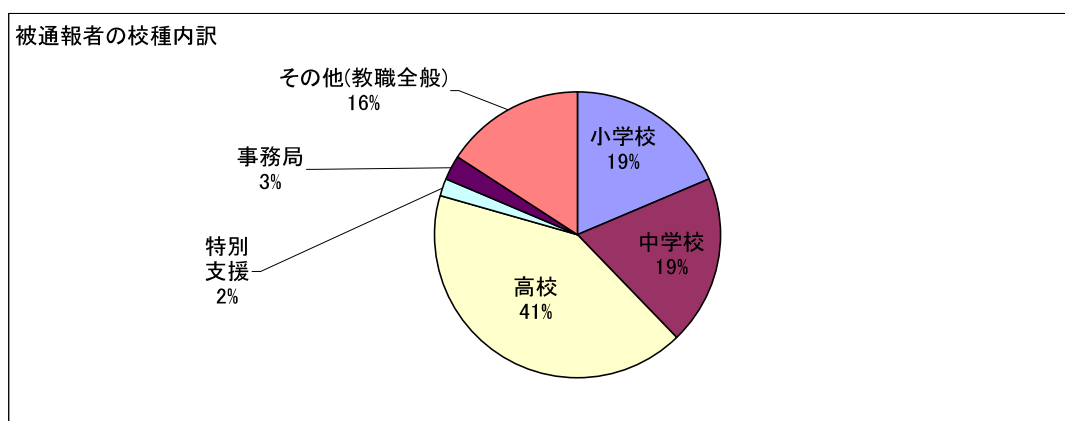


(3) 被通報者の校種内訳

単位：件

区分	小学校	中学校	高校	特別支援	事務局	その他(教職全般)	計	男	女	その他(不明)	計
18年度	36	41	83	3	1	19	183	83	9	91	183
19年度	25	30	49		8	25	137	44	5	88	137
20年度	26	17	48	3	1	46	141	45	10	86	141
21年度	32	33	74	1	7	11	158	66	20	72	158
22年度	26	26	50	4	6	28	140	54	13	73	140
23年度	21	26	68	6	2	14	137	71	13	53	137
合計	166	173	372	17	25	143	896	363	70	463	896

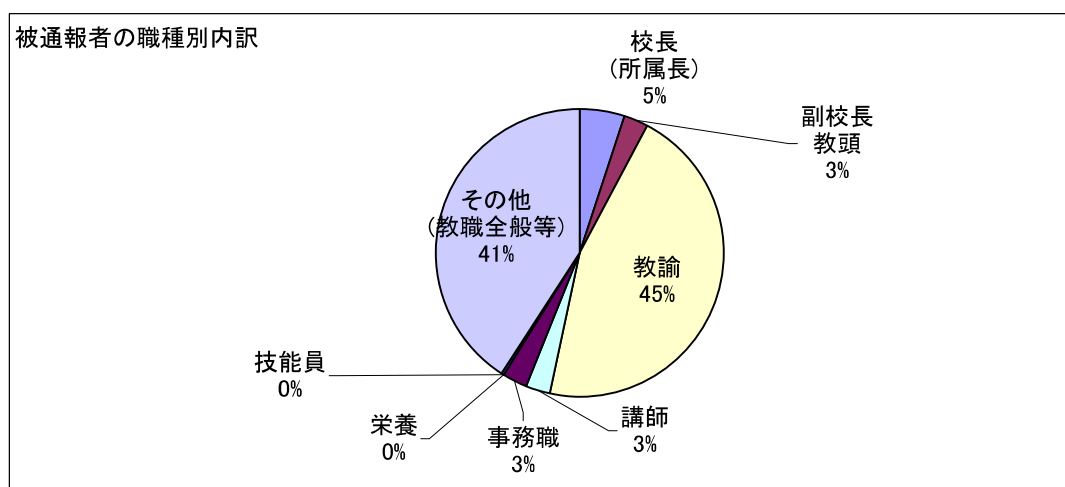
\* 小学校には幼稚園分 2 件(18 年度 1 件、19 年度 1 件)を含む



(4) 被通報者の職種別内訳

単位：件

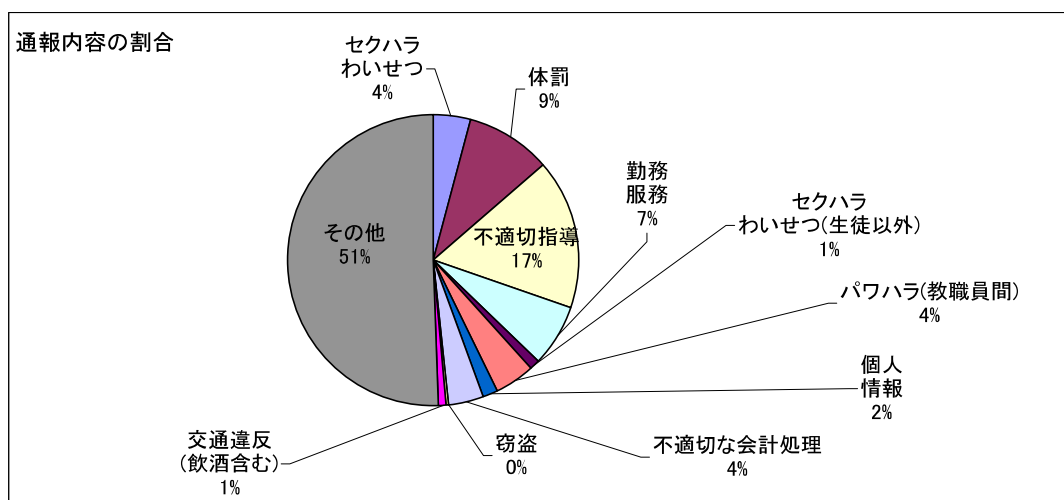
区分	校長(所属長)	副校長教頭	教諭	講師	事務職	栄養	技能員	その他(教職全般等)	計
18年度	11	6	87	8	3			68	183
19年度	5		51	3	3		1	74	137
20年度	8	2	53	2	2			74	141
21年度	6	8	82	5	6			51	158
22年度	5	5	59	1	6			64	140
23年度	9	4	78	4	5	1		36	137
合計	44	25	410	23	25	1	1	367	896



(5) 通報内容

単位：件

区分	セクハラ わいせつ	体罰	不適切指 導(暴言・ 差別等)	勤務 服務	セクハラ わいせつ(生 徒以外)	パワハラ(教 職員間)	個人 情報	不適切な 会計処理	窃盗	交通違反 (飲酒含む)	その他	計
18年度	11	21	22	10	1	1	2	8			107	183
19年度	7	6	25	9	3	2	2	5		1	77	137
20年度	3	10	17	3		4	3	4	1	1	95	141
21年度	9	16	29	5		10	1	5		1	82	158
22年度	1	11	35	17	2	9	1	9		3	52	140
23年度	7	20	22	18	3	14	5	5	2	2	39	137
合計	38	84	150	62	9	40	14	36	3	8	452	896



(6) 校種別通報内容

単位：件

区分	小学校	中学校	高校	特別支援	事務局	その他	計
セクハラ・わいせつ	7	7	22			2	38
体罰	10	27	46			1	84
不適切指導(暴言・差別等)	38	49	56	2	1	4	150
勤務服務	13	9	35	2		3	62
セクハラ・わいせつ(生徒以外)	2	2	4			1	9
パワハラ(教職員間)	2	3	26	2	1	6	40
個人情報	7	3	1	2		1	14
不適切な会計処理	3	3	19	2	5	4	36
窃盗			2	1			3
交通違反(飲酒含む)	1	2	2	1	1	1	8
その他	83	68	159	5	17	120	452
合計	166	173	372	17	25	143	896



(7) 職種別通報内容

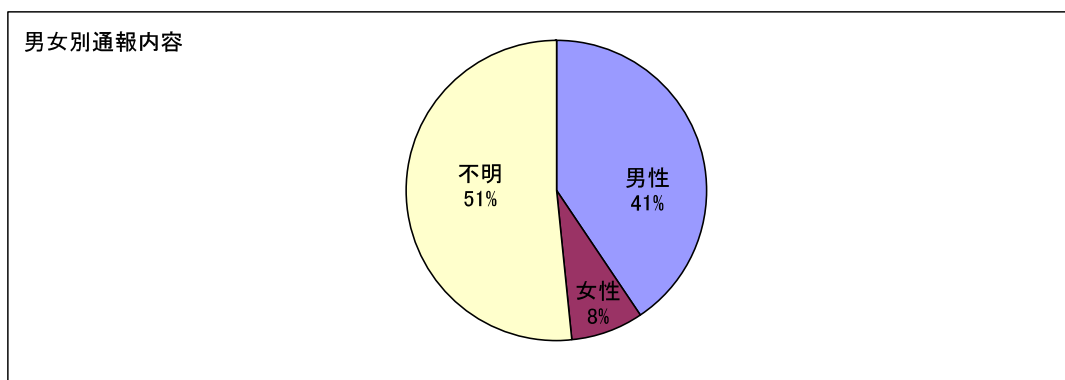
単位：件

区 分	校長 (所属長)	副校長 教頭	教諭	講師	事務職	栄養	技能員	その他	計
セクハラ・わいせつ	1	1	22	7				7	38
体罰	1	2	76	2				3	84
不適切指導(暴言・差別等)	2	4	113	1				30	150
勤務服務	2	4	29	3	4			20	62
セクハラ・わいせつ(生徒以外)	3		5					1	9
パワハラ(教職員間)	6	4	7		8			15	40
個人情報			7		1			6	14
不適切な会計処理	3		13	1	8	1		10	36
窃盗	1		1					1	3
交通違反(飲酒含む)			3					5	8
その他	25	10	134	9	4		1	269	452
合 計	44	25	410	23	25	1	1	367	896

(8) 男女別通報内容

単位：件

区 分	セクハラ わいせつ	体罰	不適切指 導(暴言・ 差別等)	勤務 服務	セクハラ わいせつ(生 徒以外)	パワハラ(教 職員間)	個人 情報	不適切な 会計処理	窃盗	交通違反 (飲酒含む)	その他	計
男性	28	62	65	34	8	18	4	20	3	3	118	363
女性		3	21	7		4	3	3			29	70
不明	10	19	64	21	1	18	7	13		5	305	463
合計	38	84	150	62	9	40	14	36	3	8	452	896

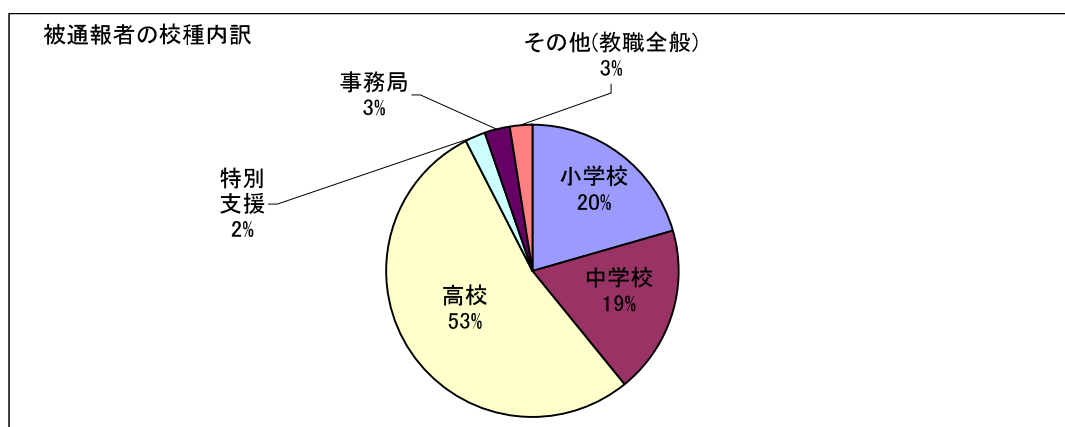


## 5 通報件数のうち調査対象の内訳（ヘルプライン+倫理 110 番）

### (1) 被通報者の校種内訳（調査対象）

単位：件

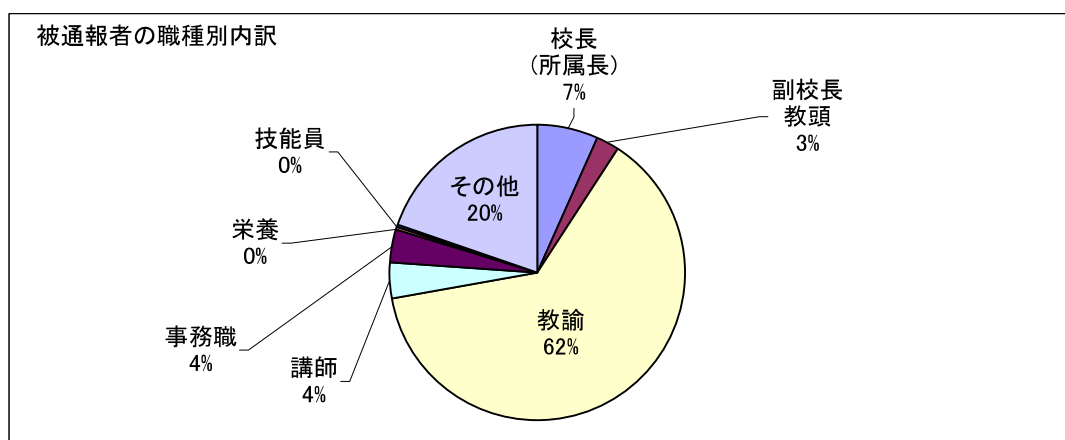
区分	小学校	中学校	高校	特別支援	事務局	その他(教職全般)	計	男	女	その他(不明)	計
18年度	17	23	49	1	1		91	60	6	25	91
19年度	13	8	33		3	2	59	40	5	14	59
20年度	16	13	39	2	1	3	74	42	8	24	74
21年度	23	15	50	1	3	3	95	54	12	29	95
22年度	11	15	34	1	3	2	66	36	9	21	66
23年度	14	12	40	5	1	2	74	49	10	15	74
合計	94	86	245	10	12	12	459	281	50	128	459



### (2) 被通報者の職種別内訳（調査対象）

単位：件

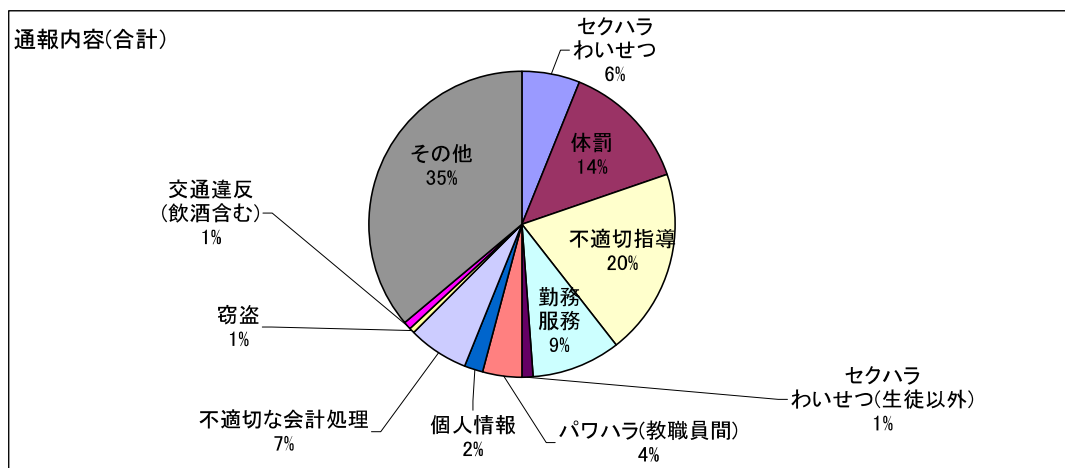
区分	校長(所属長)	副校長教頭	教諭	講師	事務職	栄養	技能員	その他(教職全般等)	計
18年度	6	2	57	4	3			19	91
19年度	5		39	3	3		1	8	59
20年度	7	1	45	2	2			17	74
21年度	4	4	60	5	2			20	95
22年度	2	3	40	1	4			16	66
23年度	6	2	48	3	3	1		11	74
合計	30	12	289	18	17	1	1	91	459



(3) 通報内容 (調査対象)

単位：件

区分	セクハラ わいせつ	体罰	不適切指 導(暴言・ 差別等)	勤務 サービス	セクハラ わいせつ(生 徒以外)	パワハラ(教 職員間)	個人情 報	不適切な 会計処理	窃盗	交通違反 (飲酒含む)	その他	計
18年度	8	11	13	5	1	1	1	7			44	91
19年度	3	5	13	5	3	1		4			25	59
20年度	3	8	13	2		3	3	4	1	1	36	74
21年度	8	16	18	5		4	1	4		1	38	95
22年度	1	9	23	11		5		7			10	66
23年度	5	13	11	15	1	5	4	4	2	1	13	74
合計	28	62	91	43	5	19	9	30	3	3	166	459



(4) 校種別通報内容 (調査対象)

単位：件

区分	小学校	中学校	高校	特別支援	事務局	その他	計
セクハラ・わいせつ	5	6	16			1	28
体罰	6	18	38				62
不適切指導(暴言・差別等)	26	23	39	2	1		91
勤務サービス	8	5	28	2			43
セクハラ・わいせつ(生徒以外)		2	3				5
パワハラ(教職員間)	2	3	12		1	1	19
個人情報	4	2	1	2			9
不適切な会計処理	2	2	17	1	5	3	30
窃盗			2	1			3
交通違反(飲酒含む)	1	2					3
その他	40	23	89	2	5	7	166
合計	94	86	245	10	12	12	459

## (5) 職種別通報内容 (調査対象)

単位：件

区 分	校長 (所属長)	副校長 教頭	教諭	講師	事務職	栄養	技能員	その他	計
セクハラ・わいせつ	1	1	18	6				2	28
体罰	1		59	1				1	62
不適切指導(暴言・差別等)	1	2	75	1				12	91
勤務服務	2	3	23	2	4			9	43
セクハラ・わいせつ(生徒以外)	2		3						5
パワハラ(教職員間)	2	2	3		4			8	19
個人情報			6					3	9
不適切な会計処理	2		11	1	8	1		7	30
窃盗	1		1					1	3
交通違反(飲酒含む)			3						3
その他	18	4	87	7	1		1	48	166
合 計	30	12	289	18	17	1	1	91	459

## (6) 調査結果に基づく措置状況の推移

## ア 教職員倫理ヘルプライン

単位：件

年 度	通報 件数	調査 対象	通報の事 実あり	左 の 措 置 状 況		
				懲戒処分	指導措置	所属長等から指導
18年度	18	14	8	1		7
19年度	9	7	4			4
20年度	10	9	3	1		2
21年度	13	6	1			1
22年度	12	8	3		1	2
23年度	15	7	3			3

## イ 教職員倫理 110 番

単位：件

年 度	通報 件数	調査 対象	通報の事 実あり	左 の 措 置 状 況		
				懲戒処分	指導措置	所属長等から指導
18年度	165	77	26	1	2	23
19年度	128	52	17	1	1	15
20年度	131	65	29	1	2	26
21年度	145	89	48	1	4	43
22年度	128	58	21		3	18
23年度	122	67	27	1	4	22

## 教育委員会における節電の取組

(教育総務課)

### 1 要旨

県組織では、東日本大震災の影響による電力不足に対応するため、昨年夏以降、継続して節電に取り組んでいる。電力需給の逼迫する平成 23 年度夏期は 15% を目標に掲げ、目標を達成することができたが、今夏も同様の目標掲げ、教育委員会の各所属においても節電を推進する。

### 2 概要

#### (1) 夏期 (7 月～9 月)

ア 目標値 (県組織における目標)

平成 22 年度比 15%削減

#### イ 実績

(単位：千 kWh・%)

区 分	23 年度 電力使用量	22 年度 電力使用量	節電実績	
			削減量	削減率
知事部局	7,627	9,829	△2,202	△22.4
教育委員会	9,860	11,692	△1,832	△15.7
警察本部	3,989	5,046	△1,057	△21.0

### 3 教育委員会の節電実績内訳

所 属		対前年% (H22→H23)
		電力使用量の比較 (7 月～9 月)
教 委 事 務 局	埋蔵文化財センター	△13.9%
	中央図書館	△7.0%
	総合教育センター	△10.9%
	富士山麓山の村	△17.8%
	焼津青少年の家	△20.9%
	観音山少年自然の家	△17.2%
	教委事務局の平均	△12.5%
県立学校の平均		△15.9%
教育委員会の平均		△15.7%

各 課 長  
各 教 育 事 務 所 長  
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー 所 長  
各 教 育 機 関 の 長  
様

教 育 長

夏季における節電対策の推進について（通知）

このことについて、別添写しのとおり、経営管理部長及びくらし・環境部長から通知がありました。

については、教育委員会においても同様に取り組みますので、各所属においては積極的な取組をするよう願います。

記

1 取組内容

経営管理部長等通知と同様の取組

2 主な取組内容

- (1) 時差通勤の休止により空調及び照明の1時間短縮（7月から9月に実施）
- (2) 毎週水曜日及び毎月第3金曜日を一斉定時退庁日とし、午後6時までには消灯
- (3) 時間外勤務縮減推進月間（7月及び8月）を設定し早期の消灯
- (4) 概ね半分を消灯（執務室の窓際・通路、廊下等共用部の一部）
- (5) 冷房中の室温 28 度の徹底
- (6) パソコンの省エネモードの徹底、電源オフ、バッテリー使用の励行
- (7) 昼休み及び退庁時は事務機器のコンセントを抜く。
- (8) プリンタの使用抑制（印刷枚数削減の徹底）
- (9) 家電類の使用抑制（電気ポット等）
- (10) エレベータ利用の抑制と効率化
- (11) 休暇取得日数の増加 <夏季休暇+3日以上の休暇取得>
- (12) 職員の節電意識を高めるため、使用電力量を「見える化」
- (13) ひとり1改革運動による節電の取組
- (14) 各所属に節電責任者及び節電リーダーを設置し、職員に対する取組みの徹底
- (15) 埋蔵文化財センター及び各教育機関にあっては、節電行動計画※の策定  
※ 本庁及び教育事務所においては、庁舎を管理する部署の作成する節電行動計画による。

担 当 教 育 総 務 課  
総 務 人 事 班  
電 話 番 号 054-221-3675

平成25年度 教員採用選考試験志願状況

(学校人事課)

1 志願者数

高等学校教員				特別支援学校教員				小・中学校教員				
教科	25年度	24年度	増減	校種教科	25年度	24年度	増減	校種教科	25年度 ＜小中連携＞	24年度	増減	
国語	120	118	2	小学部	155	155	0	小学校	779	768	11	
地歴	159	176	-17	中 学 部	国語	13	14	-1	国語	94 〈25〉	100	-6
公民	55	61	-6		社会	64	60	4	社会	132 〈16〉	154	-22
数学	131	134	-3		数学	9	6	3	数学	105 〈19〉	106	-1
理科	167	153	14		理科	9	14	-5	理科	84 〈13〉	90	-6
保体	248	225	23		音楽	18	30	-12	音楽	60 〈6〉	60	0
家庭	45	45	0		美術	9	14	-5	美術	20 〈1〉	31	-11
農業	23	28	-5		保体	116	106	10	保体	122 〈12〉	129	-7
工業	83	81	2		技術	5	4	1	技術	14 〈3〉	13	1
商業	75	79	-4		家庭	7	7	0	家庭	16 〈2〉	15	1
水産	10	10	0		英語	26	26	0	英語	126 〈11〉	146	-20
英語	137	138	-1		中計	276	281	-5	中計	773 〈108〉	844	-71
芸術	53	53	0		小・中計	431	436	-5	小中合計	1,552	1,612	-60
情報	33	48	-15	理療	8	*						
福祉	8	8	0					養護合計	149	167	-18	
高合計	1,347	1,357	-10	特支合計	439	436	3	合計	1,701	1,779	-78	

※農業実習、工業実習、水産実習を除く、\*印は募集なし

## 2 高等学校の特徴

高等学校では、前年度より10人(約0.7%)の減である。志願者が大きく増加した教科は、保健体育(23人)と理科(14人)である。理科の中では化学が最も志願者を増加した科目である。一方、志願者が大きく減少した教科は、地歴(17人)、情報(15人)であった。地歴の中では世界史が最も志願者が減少した科目である。採用予定人数は、前年度並み(140人程度)を予定している。

※「教職経験者を対象とした選考」132人 「身体に障害のある者を対象とした選考」2人 「博士号を取得した者を対象とした選考」6人 「国際貢献活動経験者を対象とした選考」2人 「大学院修士課程1年生の特例」27人 「教職大学院進学予定者の特例」3人

## 3 特別支援学校の特徴

特別支援学校では5年ぶりに理療科教員を募集したこともあり、前年度より3人(約0.7%)の増である(理療科は8人が志願)。特に中学部保健体育で10人、中学部社会で5人という増加が見られる。一方、音楽で12人、理科で5人、美術で5人の志願者減となっている。採用予定数は前年度並み(100人)の予定である。

※「教職経験者を対象とした選考」133人 「身体に障害のある者を対象とした選考」9人 「国際貢献活動経験者を対象とした選考」5人 「大学院修士課程1年生の特例」1人、「教職大学院の特例」0人、「1次試験免除」1人

## 4 小・中学校の特徴

小・中学校では、前年度より78人(約4.8%)の減であった。内訳は、小学校が11人の増、中学校が71人の減、養護教員が18人の減であった。特に志願者が減少したのは、中学・社会が22人の減、中学・英語が20人の減、中学・美術が11人の減であった。

2年目となったポルトガル・スペイン語が堪能な者を対象とした選考に11人(養護教員1人含む)(前年比7人減)、小学校理科専科は45人(前年比7人減)が希望した。

※「国際貢献活動の経験者を対象とした選考」で11人(養護教員2人含む)(前年と比1人増) 「教職経験者を対象とした選考」224人(養護教員35人含む)(前年比18人増) 「身体障害者特別選考」4人(前年比1人増) 「大学院修士課程1年生の特例」25人(前年比15人減) 「教職大学院の特例」5人(前年比1人増)



## 家庭教育支援に関する取組

(社会教育課)

### 1 家庭教育支援の取組

#### (1) P T A を対象にした家庭教育支援策

平成 23 年度に実施した家庭教育実態調査の結果から、約 80%の親が子育てや家庭教育に悩みや不安を抱えていること。また、身近な親同士の相談を欲していること等が明らかになった。

その解決策として、親同士のつながりを深める活動や、小さな悩み・不安などを気軽に話せる場の設置を広めていくことが必要である。

平成 24 年度は、学校・家庭・地域の全てに関わりを持っている P T A を対象に活動の推進を図っていく。

#### (2) モデル実施

P T A に対する家庭教育支援策について、静岡県 P T A 連絡協議会役員会や校長会等で説明し、家庭教育支援を啓発した。

これにより、以下の 2 校の P T A が、市教育委員会や市校長会、市 P T A 連絡協議会からの推薦で、モデル的に取り組むことになった。

- ・三島市立東小学校 P T A
- ・藤枝市立青島東小学校 P T A

#### (3) モデル実施 P T A への支援

モデル実施 P T A に対して、以下について提案する。また、家庭教育支援検討委員でもある学識者が、直接活動場所に出向き指導・助言する。

- ・学級懇談会等で小グループに分かれて情報交換する。  
(ファシリテートの手法を学ぶ)
- ・異学年の保護者同士が交流する場をつくる。
- ・奉仕作業等の後に、父親同士の交流の場を設定する。
- ・空き教室を利用して、気軽に立ち寄って話ができる場をつくる。

#### (4) 広報

県や地区、市 P T A の集会等において、モデル実施した取組を発表し、実践事例として紹介する。

また、モデル実施 P T A 以外の事例も含めた事例集を作成し、県内 P T A に配布して取組を推進する。

### 2 その他

家庭教育支援の輪を広めるため、平成 23 年度家庭教育実態調査結果のリーフレット「みんなで支える家庭教育」を、関係各所へ配布した。

- |                        |           |                |            |
|------------------------|-----------|----------------|------------|
| ・ 小学校                  | 5 2 2 校   | 配布数各 5 部       | 計 2, 610 部 |
| ・ 小学校 P T A            | 5 2 2 団体  | 配布数各 8 部 (役員分) | 計 4, 176 部 |
| ・ 幼稚園、保育所              | 1 0 2 5 園 | 配布数各 5 部       | 計 5, 125 部 |
| ・ その他、市町教育委員会、子育て支援拠点等 |           |                |            |

## ロンドンオリンピックに出場する本県関係選手速報

(スポーツ振興課)

## 1 趣旨

世界のトッププレーヤーが一堂に会して4年に1度行われるオリンピック競技大会が、平成24年7月27日(金)から8月12日(日)まで、ロンドンを中心に開催される。

本県関係選手は6月1日現在で6競技7人が内定している。

## 2 本県関係選手(平成24年6月1日現在)

No	競技	予定種目	氏名	所属	出身校
1	卓球	男子シングルス 男子ダブルス 男子団体	みずたに 水谷 隼	(株)スヴェンソン	磐田市立城山中 (中1まで)→ 青森山田中→ 青森山田高校→ 明治大学
2	近代五種	男子個人	とみい 富井 慎一	自衛隊体育学校	飛龍高校 (旧 沼津学園)
3	カーヌー	女子スプリント	おおむら 大村 朱澄	早稲田大学	川根高校
4	テコンドー	49kg級	かさはら 笠原 江梨香	大東文化大学	伊東高校
5	レスリング	グレコローマン 55kg級	はちがわ 長谷川 恒平	福一漁業(株)	焼津中央高校→ 青山学院大学→ 日本体育大学大学院
6	水泳(競泳)	400mリレー 800mリレー	まつもと 松本 やよい 弥生	日本体育大学大学院	飛龍高校→ 日本体育大学
7	水泳(競泳)	男子200m個人 メドレー	たかく 高桑 健	自衛隊体育学校	日大三島高校→ 鹿屋体育大学

## 3 今後出場が期待される選手

- 陸上競技 男子200m 飯塚 翔太 男子10000m 佐藤 悠基
- 男子やり投 村上 幸史 女子やり投 海老原 有希
- 男子十種競技 右代 啓祐

- 男子サッカー(清水エスパルス及びジュビロ磐田所属選手)
- 男子バレーボール(東レアローズ所属選手)
- 女子バスケットボール(シャンソンVマジック所属選手)